



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2015年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 聖書日課に励もう
3. 祈り会に参加しよう
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧師 : 杉村 幸 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

◎石叫 ■ 「このことはわたしからきた」②
 それもわたしから来たのです。あなたが忙しかったとき、わたしはあなたに話すことができなかった。しかし、わたしはわたしの秘密を語りたい。あなたはいま、わたしのそばにいる。祈る人となりなさい。
 あなたはむずかしい使命を負わされている。それもわたしから来たのです。あなたはわたしに頼ってください。
 わたしの子よ、わたしの声を聞きますか。わたしである。それはわたしから来たのです。
 『しっかりとしなさい。わたしだ。恐れることはない』
 ガリラヤ湖上で、主イエスの弟子たちは、主が嵐のただ中にある湖上を歩いて近づかれる姿を見た。はじめ彼らはその主を幽霊だと思って、恐怖のあまり叫び声を挙げたとある。大の海の男たちがである。そこで主は、「しっかりとしなさい。わたしである。恐れることはない」(マタイ十四・27)と言って声をかけ、荒波を鎮めている。この出来事を通して主は「何を彼らに願ったのか」ということ、それは、「ほんとうに、あなたは神の子です」(同33節)という弟子たちによるキリスト証言であった。つまり彼らがイエスを救い主であるとの信仰を確信することであり、主を賛美することであった。主イエスは、やがて嵐になることを知っていて、強いて弟子たちを湖上に押しやっている。だから、この試みの責任は主ご自身にある。そうしてまでも弟子たちに、イエスが救い主であることを知って欲しかったのである。
 この事実から、主はどんな困難を乗り越えてでも私たちを助けて下さることを知るのだが、それはひとえに様々な試みを通して私たちが更に主に信頼するために他ならない。そのために主は私たちがそれらに耐えられるように導いて下さるのである。主は、「試練と同時に、それに耐えられるように、のがれる道も備えて下さる」(1コリント十・13)とあるからである。
 そのように私たちに声をかけ一緒に歩いて下さる主イエスは、「エゴ・エイミー」(わたしである)という神ご自身しか使えない、モーセの時代からユダヤ社会では真に恐れ多い権威ある言葉を持って、あなたを導いておられるのである。真に主が私たちに起こる一切の試みをすべて自身の責任をもって導いておられるのだが、それは私たちが更に主に信頼するためである。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」
 オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。
 私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

